



検査のとびら



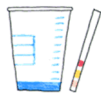
作成 2023年4月 検査室

発行 検査室・医療安全管理室

尿一般検査（2）



尿は健康のバロメーター、外観（色調・濁り・におい）観察してみよう！



#印は要注意

医師に相談or受診
しましょう。

色調：黄色（淡黄～黄褐色） 	色調：水様～透明 	色調：橙黄色(蛍光)
健常者にみられる色調 色調は尿管から分泌のウロクロムに由来する。 ・色素の排泄量は一定 ・色調は尿排泄量に依存、尿量が多いと薄く、少ないと濃くなる。	生理的要因：水の過剰摂取時。 病的要因：多飲、糖尿病での多尿・尿崩症、重篤な腎機能障害、萎縮腎などでみられる	薬剤性的色調：ビタミン剤やビタミン飲料、栄養ドリンク摂取後にみられる尿。 *ビタミン類は検査薬に影響を与えるため、検査前の服用は控えて！！
色調：赤(褐)色(新鮮) 	色調：茶～褐色 	色調：赤褐色, コーラ色
非糸球体性血尿：鮮やかな赤色の赤血球尿、膀胱や尿道・尿路付近からの出血、炎症が推測される。尿路結石、尿路感染等が推測される。	濃縮された尿：強い脱水や発熱後に見られる濃い色調。	糸球体性血尿：赤血球が溶血し変性した状態のヘモグロビン尿。糸球体腎炎、腎盂炎、癌、溶血性貧血などが推測される
	色調：乳白色、混濁(+)～(++) 	色調：灰白色～乳白色, 泡(+)
	混濁は細菌や白血球の増加で、尿路感染症、膀胱炎、尿道炎が疑われる。アンモニア臭あれば細菌尿。アルカリ尿ではリン酸塩、炭酸塩の析出あり。	泡沫が顕著に呈するのは大量の蛋白が含まれることを示唆。 ネフローゼ症候群、糖尿病性腎症の合併が疑われる。DMでは甘いにおい有

Point !

尿の色で熱中症の予防対策
脱水レベルを知り、水分補給しよう！

尿の色で脱水症状をチェック

カラーチャートを活用して尿の色で脱水レベルを判定し、どの程度、水分補給すれば通常の状態に戻るかを示したものとなります。
ぜひ参考にしてください。夏場の災害時にこそ水分補給に気を付けましょう。
2019年12月23日



- 普段通りに水分を取りましょう
- コップ1杯の水分を取りましょう
- 1時間以内に250mlの水分を取りましょう
屋外あるいは発汗していれば、500mlの水分を取りましょう
- 今すぐ250mlの水分を取りましょう
屋外あるいは発汗していれば、500mlの水分を取りましょう
- 今すぐに1,000mlの水分を取りましょう
この色より濃い、あるいは赤/茶色が混じっていたらすぐ病院へ行きましょう



厚生労働省ホームページ「尿の色で脱水症状チェック」より

知ってた？

添加物別のキャップ カラー

添加物	文字コード	カラーコード	
EDTA	2 カリウム塩	K2E	ラベンダ
	3 カリウム塩	K3E	ラベンダ
	2 ナトリウム塩	N2E	ラベンダ
クエン酸 3 ナトリウム	9:1	9NC	ライトブルー
クエン酸 3 ナトリウム	4:1	4NC	黒
ふっ化物 / シュウ酸塩	FX		灰色
ふっ化物 / EDTA	FE		灰色
ふっ化物 / ヘパリン	FH		緑
ヘパリンナトリウム	LH		緑
ヘパリンナトリウム	NH		緑
クエン酸塩 リン酸塩 ぶどう糖 アデニン	CPDA		黄色
無し (生化学・血中濃度など)	Z		赤

日本'クトン・デキソ'社HPより

出典：JIS3233:2005
(色付けは当社によるものです。)

採血管内の添加物によりキャップの色が決ってます。



検査室 佐藤まで